



1. 緊急事態宣言が解除されました。

9月30日(木)の期限をもって緊急事態宣言が解除されました。宣言や重点措置が全国のどこにも出ていない状況は4月4日(日)以来とのことです。緊急事態宣言が解除されたからといって、新型コロナウイルスがいなくなったわけではありません。今後も、手洗い、マスクの着用、密を避けるなどの感染防止対策を徹底し、教育活動を行ってまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

2. カルスポ祭 総合文化の部をおこないます。

10月22日(金)に「カルスポ祭 総合文化の部」を実施します。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでしたが、今年度は、このコロナ禍において何ができるかを生徒会の執行部や文化委員のみなさん、教職員が共に一生懸命考え、その結果、1年生は Horizont制作展示、2年生は感染予防対策を行いながらの合唱、3年生は映像を活用した紙芝居をそれぞれ発表します。なお、規模を縮小して子どもたちと教職員のみで行いますので、保護者の参観はできません。ただし、PTA広報ご担当の方が写真撮影し、「PTAだより」に掲載していただく予定ですので「PTAだより」を楽しみにしていただくと幸いです。子どもたちの取組はすでに始まっています。その様子は、本校のブログをご覧ください。よろしく申し上げます。

3. 印象的な名言

最近読んだ本の中で、とても印象的な名言がありました。

「人の悪を攻むるには、太だ厳なるなかれ、その受くるに堪えんことを思うを要す。」

「人を教うるに善を以ってするには、高きに過ぐるなかれ、当にそれをして従うべからしむべし。」

これは、「人を叱責するときには、あまり厳しい態度で臨んではならない。相手に受け入れられる限度を心得ておくべきだ。人を教導するときには、あまり多くを期待してはならない。相手が実行できる範囲内に止めておくべきだ。」という意味だそうです。

私たち(教員)は、子どもを指導する場面が度々あります。その際、相手(子ども)のレベルを確認せず、多くを求めすぎることがあります。まず、子どもの話をじっくり聴いてから「何でそうなったのか、何がいけなかったのか」を、頭ごなしに声を荒げて怒鳴りつけることなく、水が浸み込むように理解させることができれば・・・と思います。

＜出典 『菜根譚の名言 ベスト100』(著者：守屋 洋 守屋 淳 発行所：PHP 研究所)＞